



店主の彼末祐一さん (左) と信田さん。  
右写真は店の入り口

**やぎとり鳥ゆう**  
羽村駅 徒歩5分

**私の行きつけ**  
新・赤すようさん



予約すれば貸し切りも可能で、宴会にも便利だ。1階はかなりのスモークキーなので、子ども連れや非喫煙者は1階ボックス席か2階が良いでしょ。いつも笑顔の絶えないマスターの彼末祐一氏と若い女性店員、1年中半袖のお兄ちゃん3人で切り盛りしている。鶏肉は鮮度にこだわった国産100% (註・やげん軟骨と唐揚げ用) も肉はブラジル産使用。飲み物はかわ坊主大辛口純米大吟醸、十王などの日本酒

**鮮度抜群の国産鶏肉**  
大人気はレバーねぎまみれ

・ビール・ワイン・各種サワー等何でもあり。笑えるのは「ガリガリ君サワー」や肝臓エキス配合の「ホルモンサワー」。人気メニューは「鶏レバーねぎまみれ」。レバーとねぎとゴマ油、そして塩がベストマリナーズ。焼き鳥も抜群で、特に塩が美味。さすが知る人ぞ知る昆布と松茸の旨味が凝縮された「ろく助の塩」を使っているだけある。べはとり雑炊か鶏だしバターにんにくラーメンをどうぞ。《メニュー》(価格は税別) 生ビール(中) 550円 サワー各種 380円 焼き鳥(一本) 100円 鶏レバーねぎまみれ580円 どの雑炊 500円

【営業時間】15時〜22時(日曜12時〜19時/木曜定休)

【住所】羽村市五ノ神4-1-13

☎042-554-5353

**忘れえぬこと**

芋虫に魅せられて  
亡き母の寛容さに感謝



子どもの頃、なぜか毛虫以外のいわゆる芋虫と呼ぶ幼虫に興味津々だった。春には近所のキャベツ畑に入り込み、葉の裏をめぐってはモンシロチョウの幼虫を捕まえ、ガラス瓶に入れて家で観察し、湿った土の中からミスをほじ

**ミスター検察**  
角栄逮捕、リクルート事件

の捜査指揮、佐川急便事件での金丸信逮捕とめざましい活躍を見せ、「ミスター検察」とまで呼ばれた第18代検事総長の吉永祐介。まだ男女雇用機会均等法などがなく、大卒女性の職

場が限られていた時代。就活中だった娘から「お父さんにはどこか頼めるところはないの」と聞かれた吉永は、「私はそういうことをしてはいけない職にある」と答えたという。

もちろっちゃっと冷たい触感がたまらない魅力だったのだ。両親はそんな私の行動を黙認してくれた。

後で母が「気持ち悪いのに持ってきちゃったんだから」と内心嫌がっていたことを知り、頭から叱らないでいてくれたことを本当にありがたと思う。夜な夜な蚕の幼虫が桑の葉をサクサクと食する音をどんな気持ちで母は聞いていたのだろうと思うと、私のやりたいようになんでもやらせてくれたことに今更ながら感謝する。

その母も今はいない。芋虫を見かける事もめっきりなくなった。今でも私には愛らしく思えた蚕の触感を思い出すことができる。しかししたいい女の子は虫が苦手なよう

**詰将棋**



**チヨット一服(107)**

コロナ禍で定着したソーシャルディスタンス(社会的距離)だが、コロナ感染に関わる偏見や差別による事件が起きるたびに、社会的距離がこれに助長しているように思えてならない。

WHOは社会的なつながりはかつてないほど重要だと、

**この国の原発政策のあり様を問う**

この国は、避難指示区域内外によって補償に差をつけ、被災者同士を分断し、連帯さえも奪う。そうしたやり方に心から怒りを覚えました。

被災地をはじめ、避難場所のどこで起きているかたであらう、被害の実相を知ることができる書としてお勧めです。

(新日本出版社・2200円十税)

**大地の歌ごえ**  
たなかもとじ

原発事故がなぜ起きたのか、防ぐことはできなかったのか、その責任の所在はどこにあるのか、かつて娘の三回忌で住職から聞いた「死者は生者の中に生きる」は、事故の真実を明らかにすることだと思ってしまう。

この国は、避難指示区域内外によって補償に差をつけ、被災者同士を分断し、連帯さえも奪う。そうしたやり方に心から怒りを覚えました。

被災地をはじめ、避難場所のどこで起きているかたであらう、被害の実相を知ることができる書としてお勧めです。

(新日本出版社・2200円十税)

**ほん**

【本部・碓谷栄治記】今から9年前の3月11日(奇しくも私の誕生日)に起こった東日本大震災と原発事故によって、暮らし、町、心が長期に渡り奪われ、被災者それぞれが悩み、葛藤する中で、被害者と加害者の双方から原発を見つめ、日本の原発政策のあり様を問う物語です。

主人公の清水里美は、津波で娘を亡くし、心に深い傷を負います。事故後誕生した息子にも甲狀腺への異常が認められ、夫と別居して東京への移住を決意します。

夫の洋平は、電力会社の社員として、廃炉作業などに全力を尽くしますが、家族を亡くした被害者であると同時に、加害企業の社員であることに苦しみます。

分断し、連帯さえも奪う。そうしたやり方に心から怒りを覚えました。

被災地をはじめ、避難場所のどこで起きているかたであらう、被害の実相を知ることができる書としてお勧めです。

(新日本出版社・2200円十税)